

自治会活動に入会したきっかけをおしえてください。

戦後の混乱期に、防災防犯のため両親も携わり10軒余りで設立した町内会です。仕事で他市に暮らし、52歳で国立市へ戻ってきたときに、「北って国分寺市でしょう?」と言われて、知らぬ間に発展した国立市から取り残された感じがしました。「それじゃダメだ」と思い、入会しました。

北二丁目みどり会の活動内容について教えてください。

創立70周年を迎えて、約200世帯の町内会になりました。現在は、会の域内に留まらず、北地域全体で課題に取り組んでいます。『災害時要援護者支援部会』、『北地域合同防災訓練』、『北大通り清掃』、『公園協力会』、『違反広告物撤去』、『香りの路地庭みちプロジェクト』、『ふれ愛まつり』、『北文化祭』などです。

近いうちに、『高齢者支援制度』もスタートする予定です。



△ふれ愛まつり



活動の中で印象に残っている出来事を教えてください。

JR中央線の高架化は、想像を超えて、北地域を変貌させました。開かずの踏切の解消、北口の安全なロータリー整備などは、北地域を変貌させました。ポップアミチ緑道や高架下の新道など目に見えて充実しました。工事中の諸問題の検討・要望を目的に沿って自治会が集まり、市・都・JRと話し合いました。完成後も住民の意見をまとめて、雑草やごみのない側道と残地を求めた整備を提案し、雨情通りと命名しました。腰を痛めずに手入れができるフラワーポットが設置され、桜並木の作業も住民参加で行うなど、良好な環境維持の面でも優れた新道の造り方だと思います。

国立市に期待することはありますか。

時に「あなた達がやり過ぎるから、市が怠慢になるんだよ。」と言われる。人口減少・高齢化による社会の停滞・後退は避けられません。人材と予算の不足が加速し、あらゆる困難が波及するでしょう。対立だけでなく行政と一緒に解決方法を考えて効果を生みたいですね。

今後の展望などがございましたら教えてください。

「自分の住む街だから良い環境で暮らしたい」こんな思いを共有して自分ができることに少しでも関われば、住みやすさは永続するでしょう。

それが、町内会・自治会の存在意義と考えます。世の中や考え方の変化を見据え、運営は若い人に委ねて応援したいですね。一番の課題は世代交代かもしれません。

今回の自治功労賞は、北二丁目みどり会の会員の全面的なご協力があってこそその受賞です。創立70周年そして、令和元年の節目に、さらに私自身の75歳の節目でもあり望外の幸せです。ありがとうございました。



△北二丁目みどり会のみなさんで記念植樹

地方自治功労



中原 修氏

平成22年～平成29年 北二丁目みどり会会長
平成30年～現在 北二丁目みどり会総務・渉外担当